



# 静岡新聞で学ぼう



## おや 親 守 詩 うた

### 互いへの感謝 親子で連歌に

親子が互いに感謝の言葉を短歌の形式でやり取りする「親守詩（おやもりうた）」の普及を目指す動きが県内に広がってきた。一部の学校では授業に活用するようになった。今年7月には作品を公募し、県大会も初めて開催される。

他県の大会での受賞作品例

#### ◆埼玉県大会

(子) 遠くの地 ひとりがんばる 父恋し  
(父) 長男坊よ 家族まかせた

#### ◆山口県大会

(子) 抱っこだと 風邪がうつるよ お父さん  
(父) 何を言ってる 親子じゃないか

#### ◆北海道大会

(子) 毎日の 母の笑顔で 頑張れる  
(母) ママの癒しは あなたの笑顔

## 県内普及、拡大へ 7月に大会



親守詩を制作する親子。創作活動を通して自然と会話が生まれる。2月中旬、静岡市葵区の市立安西小

「子守歌」をもじった親守詩は、子どもが「学」推進議員連盟（会

上の句（5・7・5）を作り、親が下の句（7・7）をつなげる連歌。2004年に松山市で始まり、超党派の「親

「お母さん仕事も家事も頑張って」と詠んだ女兒に、母親が「家族のために今日も頑張る」と返す。保護

7月28日に静岡市民文化会館で開く。作品の募集は5月19日まで。応募や大会参加の方法は「親守詩静岡県大会」のホームページに掲載している。

① <sup>ちかもりうた</sup>親守詩とは何ですか。

② 感謝の気持ちをこめて、<sup>かみ</sup>上の句（5・7・5）を作りましょう。

③ 家族に<sup>しも</sup>下の句（7・7）をつなげてもらい、親守詩を完成させましょう。

2013年3月30日朝刊 県総版

年 組 名前

(小学校全学年 国語、総合)